



東京2020大会に向けて「ゴルフ」を疑似体験



2月7日(水)、広瀬小学校の6年生77人が、日本ジュニアゴルフア育成協議会の協力ですナッグゴルフを体験しました。

スナッグゴルフとは、ゴルフの基本を学ぶために開発された、ランチャー(アイアン)とローラー(パター)を使い、テニスボールより一回り小さいサイズの柔らかいボールを打って、的となるスナッグフラッグ(カップ)に貼り付けるスポーツです。

児童たちは、ルールや基本動作の指導を受けた後、校庭内に作られたコースを回りました。はじめは戸惑いながらも、最後には全員が見事なショットを決めることができました。

市は、東京2020大会ゴルフ競技の「会場市」でもあり、大会を盛り上げ、ゴルフ競技の普及、認知拡大にも取り組んでいます。

「夢をかなえるプロジェクト」で元サッカー日本代表と新狭山小学校の児童が交流

2月17日(土)、新狭山小学校で児童80人が参加し、浦和レッドダイヤモンドで活躍した元サッカー日本代表の鈴木啓太氏を講師に迎え、トークショーとサッカー体験教室を行いました。



「埼玉県ゆかりのアスリートと交流したい」という児童の夢を実現したもので、トークショーでは、「世界レベルの選手になるために必要なことは何か」との質問に、「勝ちたいという強い意志を持つこと。諦めずに、今できることを一生懸命やれば、必ず誰かが認めてくれる」と夢に向かって挑戦することの大切さを伝えました。

サッカー体験では、ちふれASエルフェン埼玉の選手も交えて、ボールを使った「鬼ごっこ」やミニゲームを行いました。元日本代表の華麗なテクニックの前では個人の力では及ばないと、児童たちはチームプレーで挑戦し、仲間を信じ協力し合うことが大きな力となることを学びました。

史跡を巡り地域を学ぶ

2月4日(日) 節分の日の小さな旅(入曽公民館)

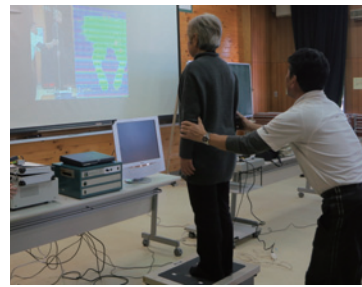


身近な地域の探訪に79人が参加しました。随行した講師から、道中の社寺仏閣や道端に造立された石仏のいわれなどを学び、地域への愛着が深まりました。

正しい姿勢で健康増進

2月6日(火) 水富姿勢見直し講座(水富公民館)

土踏まずに重心を置くだけで姿勢がよくなると学ぶ受講生。足裏の画像から体の重心を確認しては驚き、自分の癖を見直すきっかけとなりました。



28年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の修了生がお届けします さやま・レポート 狭山自慢



個人の庭などを一定期間公開する「オープンガーデン」をご存じでしょうか。

狭山市では、さやま市民大学のガーデニング講座修了生が中心となって立ち上げた団体「さやまっちガーデナー」が、平成28年3月から「さやまっちオープンガーデン」と銘打って展開しています。

現在、市内には30か所オープンしており、それぞれのオーナーが丹精込めて作った庭や、愛情を注いで育てた植物が、訪れた方を魅了しています。オーナーとのガーデニング談義も楽しみの一つ。花を通じたコミュニティの輪が広がっています。

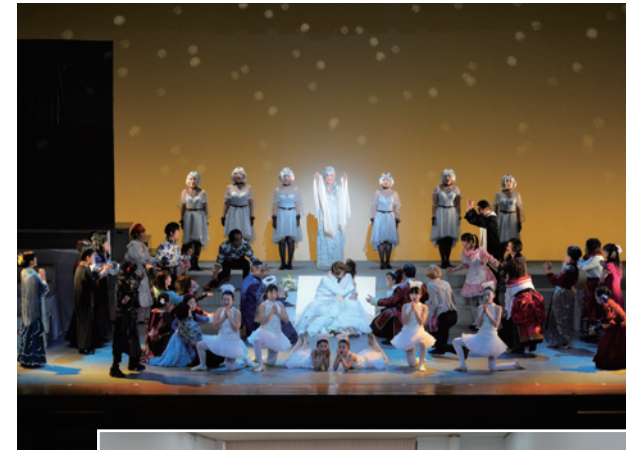
暖かな日差しを浴びて、花がほころび始めるこれからの季節。春を感じに、すてきなお庭を訪ねてみてはいかがでしょうか。心も癒されますよ。オープンガーデンのマップは、公民館や市役所7階広報課などで入手できます。

◆さやまっちガーデナー 問合せ今坂優代さんへ ☎2955-5875

ジャンルを超えた芸術文化の祭典

2月20日(火)~25日(日) 狭山市民芸術祭(市民会館)

市民団体による年に一度の総合芸術の場。「輝き」をテーマに、各団体の舞台発表をはじめ、彫刻や版画、生け花などの作品展示のほか、狭山にゆかりのある文化人を紹介するパネル展も行われました。最終日には、オーディションで選ばれた市民ら43人が、不朽の名作をアレンジしたミュージカル「ロミオとジュリエット(復活編)」を熱演。心に響く演技と原作とは異なるハッピーエンドに、満席の会場は感動の拍手に包まれ、芸術祭のフィナーレを飾りました。



7か月にわたる稽古の成果を披露



絵画、陶芸、写真なども多数展示されました

発想力豊かに工夫を凝らして作るお弁当

2月11日(祝) カラー粘土でミニチュア弁当を作ろう(狭山台児童館)

小学生7人が、粘土を使ったお弁当作りに挑戦しました。自分で献立を決め、お弁当箱にきれいに納まるよう、おかずの大きさや色合いを調整しながら、オリジナル弁当が完成。いつも美味しいお弁当を作ってくれるお母さんへの感謝の気持ちが深まりました。



お母さんになったら本物の「キャラ弁」を作るんだ〜!



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

自分らしい生き方・働き方を目指して

2月8日(木) 女性のためのプチ起業はじめ方セミナー(産業労働センター)

趣味や特技を生かした働き方に興味がある18人が参加しました。税金や保険など起業に必要な基礎知識をはじめ、家事や子育てとの両立や仲間作りの大切さなどを学び、夢の実現に向けた第一歩を踏み出しました。



経営には対話が重要。コミュニケーションは「まず自分から」

大切なのは「一 焚き、二 麴、三 仕込み」

2月3日(土) 味噌作り講座(堀兼公民館)

「堀兼の農の会」の皆さんを講師に、地元堀兼で採れた大豆を使った味噌作りに挑戦。寒いこの時期に作ることで、米麴の発酵がゆっくりと進み、おいしさが一段と増します。参加者は、1年後の食べ頃を楽しみに、心を込めて仕込みました。



味噌が酸っぱいよう団子状に「ぎゅっ」と握って空気を追い出します